

熊本地震から5年目

「熊本地震は2016年4月14日の21:26に前震、4月16日の1:25に本震が発生した。震度7の激震に2度襲われた益城町をはじめ、広域で家屋倒壊などの被害が相次いだ。2020年3月末現在で仮住まいを続ける被災者は3122人」【4月15日(水)の熊日新聞記事より】という記事の他に、今週の新聞やニュースには熊本地震関連の内容が数多く出ていました。南阿蘇村の記事もありました。見出しの一部を記載します。

アクセス改善 交流増に期待

豊肥線沿い治山工事終わる

追悼の光再生誓う

災禍に思う命の尊さ

取り残される集落

インフラ復旧 84%

おやじの分まで 百姓を

解体せず、守り続ける

何年たっても忘れない

熊本地震から4年が過ぎ、5年目を迎えますが記事にあるように様々な人が、様々な思い

を抱え、それぞれの人生を生きていらっしゃいます。生徒のみなさんもその一人です。「僕は忘れていないし、これからも忘れない。コロナという別の災難が降りかかっているが『これだけの困難を乗り越えたんだ』と実感できる日が必ず来るはずだから。僕は祈り続けるし、一緒に乗り越えていきたい。」とメッセージを送ってくれたソフトバンクのデニス・サファテ投手のように、心のハーモニーを奏でながら乗り越えていきたいと思います。

緊急事態宣言、全国に拡大

5月6日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策

として、全国に緊急事態宣言が出されました。ゴールデンウィークの人の移動を最小化するためです。「最低7割、極力8割の接触削減を何としても実現する」ために不要不急の帰省や旅行を絶対に避けるよう呼びかけてあります。熊本県の小中学校は以前から5月6日までは臨時休業(休校)にしています。命を守ることが第一です。

しかし、学校への問い合わせや地域の方の話から、ご家庭での子どもたちの不安やストレス解消、基本的生活習慣の維持、計画的な学習がいかに難しいかも伝わってきます。

それで家庭学習の1つの方法として学校のホームページに学習動画をのせてみました。随時追加していきます。しかし、全学年の全教科等で実施するのには限界があります。また、学校のインターネット環境が十分でないこともあり、全家庭にはお届けできていませんが、できることにはチャレンジしていきます。もちろん、学習動画を見ていても見ていなくても5月7日以降の学校の授業でしっかりおさえます。不安なことがありましたら学校にご一報ください。みなさんと一緒にこの困難を乗り越えたいと思います。